



東日本大震災 芸術・文化による 復興支援ファンド

企業メセナ協議会

ご協力ご支援のお願い

被災された人々の心を芸術・文化で支える活動、
被災地の文化再生・芸術活動のための支援金を募ります

このたびの東日本大震災により被災された皆様に、心からお見舞いを申し上げます。

未曾有の震災がもたらした影響は計り知れず、復興までの道のりは長く険しいものと予想されますが、人々の心を支え、未来への希望をつなぎ、地域の誇りを取り戻していくうえで、芸術・文化が大きな力を持ち得ると私たちは信じています。

芸術・文化振興による社会創造を推進してきた企業メセナ協議会では、被災された方々を芸術文化で励ます活動、被災地の文化再生・芸術活動を応援するために、広くご寄付を募ってまいります。

芸術・文化による震災復興にご賛同いただける皆様のご協力ご支援をお願い申し上げます。

ご寄付の方法

裏面の「寄付申込書」にあります金融機関までお振込みください。

公益社団法人企業メセナ協議会へのご寄付は、特定公益増進法人への寄付として税制上の優遇措置を受けることができます（領収書をご入用の場合は「寄付申込書」またはメールフォームにてお申込みください）。

支援活動

被災者・被災地を応援する目的でおこなわれる
芸術・文化活動

避難所でのミニコンサート、ワークショップなど、被災者の心身のケアにつながると思われるもの（表現方法・形態は問わず）

被災地の有形無形の文化資源を再生していく活動

地域固有の伝統芸能・文化活動の継承、被災地での芸術・文化活動の再開、そのための調査、作品等の修復など

※助成対象活動は、活動される方々からの申請活動、および当協議会での情報収集活動より選考委員会にて決定

ご存じの芸術・文化活動がありましたら、ぜひ事務局まで情報をお寄せください

お問合せ先

公益社団法人企業メセナ協議会

GBFund（芸術・文化による震災復興支援ファンド）係

〒100-0005

東京都千代田区丸の内 1-8-2 第一鉄鋼ビル 1 階

Tel. 03-3213-3397 Fax. 03-3215-6222

Web. www.mecenat.or.jp

Email. mecenat@mecenat.or.jp

Twitter. @mecenat_jp

arts-fukkou.blogspot.com

申込日 年 月 日

公益社団法人企業メセナ協議会 宛

寄付申込書

「東日本大震災 芸術・文化による復興支援ファンド」の趣旨に賛同し、寄付いたします。

- 芸術・文化による被災地の復興支援全般に資することとし、具体的な支援先の決定は協議会に一任いたします。
- 寄付金の返還は、いかなる事由であれ求めません。

①②③④は必ずご記入ください

【必須】①寄付金額

円

【必須】②寄付者名(=領収証の宛名となります)

フリガナ

■法人・団体の場合はご所属・ご担当者名⇒

■振込者名が異なる場合はお書きください⇒

【必須】③住所・所在地

【必須】④お電話番号

Fax.

⑤E-mail

⑥匿名希望 ←○印をつけてください。無印の場合は公表させていただきます。

支援先へのメッセージ・ご要望がありましたらお寄せください

お申し込み先⇒【FAX】03-3215-6222 【E-mail】mecenat@mecenat.or.jp

【郵送】100-0005 東京都千代田区丸の内 1-8-2 第一鉄鋼ビル 1階 Tel.03-3213-3397

■寄付金受入れ口座

三井住友銀行 丸ノ内支店 普通預金 6894079

みずほ銀行 銀座支店 普通預金 2793744

ゆうちょ銀行 ○○八店 普通預金 1642998 (支店名は「ゼロゼロハチ」です)

口座名義 公益社団法人企業メセナ協議会(コウエキシャダンホウシンキョウメセナキョウカイ)

*「公益社団法人」は「社」「シャ」と略することも可能です。

*恐れ入りますが振込手数料はご負担願います。

■公益社団法人である当協議会へのご寄付は、税制上の優遇措置を受けることができます。

■領収証はご入金確認後 3ヶ月以内に上記②寄付者名にて作成し、③所在地・住所までお送りします(個人の場合、③住所も領収証に記載いたします)。それまで振込み控えは大切に保管してください。なお領収証の再発行には応じられません。

■寄付申込みに際しいただいた個人情報、本件についてのご連絡ならびに協議会情報のご案内のみに使用させていただきます。

第1回 GBFund(東日本大震災 芸術・文化による復興支援ファンド)助成活動一覧

実施者・団体名(所在地)／ 活動名／実施日／場所	活動内容
ENVISI(宮城県) “生きる”博覧会 2011 2011年5月11日、2011年8月13日～21日、 2011年8月～12月 宮城県南三陸町、集団避難先(大崎市・登米市・栗原市・加美町)	津波により壊滅的な被害を受けた南三陸町。「きりこ」と呼ばれる切り紙に人々の思い出や物語を刻みながら、再生に向けて町民の心をつなげていくプロジェクトを展開する。震災から2ヶ月経つ5.11には黙祷の会で追悼の曲を歌い、8月のお盆では、八幡川での「かがり火まつり」にあわせて「きりこ」を展示。集団避難所でも「南三陸ストーリー」の朗読と「きりこ」づくりを行う。
ビルド・フルーガス(宮城県) 飛びだすビルド!のワークショップ「ダンスでクイズ」 2011年5月27日 日和幼稚園(宮城県石巻市)	被災された方々が「アトの力」で前向きな力を取り戻し、明るい未来を創造できるよう、主に子どもたちを対象にしたアトワークショップを実施。今回は、被災前より当団体がワークショップを行ってきた幼稚園で、ダンス・お絵かき・クイズの要素を取り入れた多人数参加型のプログラムを展開する。
三函座リバースプロジェクト実行委員会(福島県) 『ミツバチの羽音と地球の回転』上映会 2011年5月4日～5日 burrows(福島県いわき市)	映画『ミツバチの羽音と地球の回転』は、上関原発計画に向き合う山口県祝島の人々と、スウェーデンで持続可能な社会を構築する人々の取り組みを描く。未来のエネルギーがテーマの映画を上映することで、今後のいわきのエネルギー問題について考える。監督の鎌仲ひとみ氏を招いての対談も実施。
ARTS for HOPE(東京都) ARTS for HOPE 2011年4月下旬～2012年3月 被災地域全域(宮城県、岩手県、青森県を中心に茨城県、福島県など)	被災者を対象に、アトを通じた心のケア(ホスピタルアト)を目的に活動。被災地域の子どもたちや高齢者を中心に、心穏やかな創作活動の時間を提供する。現地のスタッフと連携して長期的(10年間)に活動を展開していく予定。
特定非営利活動法人 remo /記録と表現とメディアのための組織(大阪府) 東日本大震災 震災復興記録プロジェクト 2011年5月1日～2012年3月 宮城県の被災地、仙台市、せんだいメディアテーク	震災の記憶や復興の経過を、アーティストや被災した市民自らがビデオなどの映像で記録。避難所で過ごす当事者による撮影や、身近な表現ツールでの記録活動と協調しながら、映像による震災の記憶を多様な視点で留めていく。人々の交流を生み出すソーシャル・メディアとしての可能性を探るとともに、被災地の無形の文化資源をアーカイブする。
尚光堂(宮城県) 桜の散歩撮影会+イザウラコンサート+天野裕氏写真展「鋭漂」 2011年4月29日 尚光堂店内、塩竈神社、みなと公園(宮城県塩竈市)	みんなが笑顔をみてお互い元気になればと、塩竈市で毎年桜が満開になる時期に合わせて写真と音楽のイベントを開催する。桜の散歩撮影会(尚光堂:写真店)、仙台市出身のイザウラ氏コンサート、2009年塩竈フォトフェスティバル大賞受賞・天野裕氏氏の写真展を同日に実施。

実施者・団体名(所在地)／ 活動名／実施日／場所	活動内容
水戸市芸術振興財団(茨城県) “水戸の復興に祈りをこめて”水戸芸術館専属楽団の名手と水戸の若者たちによる慈善演奏会 2011年5月14日 水戸市総合運動公園体育館(茨城県水戸市)	「被災した市民の心を音楽で支える」ため、水戸室内管弦楽団や ATM アンサンブルのメンバーの他、地元の中高生とともに無料演奏会を開催。茨城ゆかりの作詞家の曲を、出演者全員で演奏、参加者全員で合唱するプログラムも実施する。
3.11 絵本プロジェクトいわて(岩手県) 3.11 絵本プロジェクト(被災地の子どもたちに絵本を届けよう！) 2011年3月29日～2012年3月31日 青森県南部、岩手県、宮城県北部の被災地(絵本の届け先)	全国より集めた絵本を被災地の子どもたちに直接届けるとともに、演劇人やアナウンサー、読み聞かせボランティアらが現地で読み語りなどを行う。また、軽自動車型の「絵本カー」を製作して被災地を巡回するほか、流出した図書館には児童図書を贈呈。被災地の子どもたちの心のケアを目的として活動を展開する。
八戸市(青森県) 八戸レビュー・震災復興アーカイブプロジェクト 2011年4月16日～2012年3月31日 八戸ポータルミュージアム・はっち、八戸市沿岸部中心(青森県)	88人の市民が88人の市民を取材し、3人の写真家が写真に納める「八戸レビュー」。同プロジェクトの参加者により、八戸レビュー88景にまつわる情報収集と被災者への取材、八戸港や水産業の復興への道のりをアーカイブする。アーティストとともに市民ライターや地元写真家が捉えた八戸の魅力を、図録やアプリのコンテンツとして発信する。
Art Revival Connection TOHOKU(宮城県) Art Revival Connection TOHOKU 2011年4月4日～2013年3月31日 宮城、岩手、福島 of 被災地	東北の舞台芸術関係者が集い、ネットワークを構築。表現を通して被災者の心をケアできるよう、避難所でダンサーがストレッチ体操を行ったり、俳優による紙芝居や朗読劇など、現地のニーズに応じた活動を展開。さらに、被災した人々の声に耳を傾け、震災を語り継ぎ、地域の物語を紡ぐような作品を創ることをめざす。
上田秀一郎(東京都) 光灯せし希望と祈りの太鼓プロジェクト 2011年4月23日～5月28日 宮城県南三陸町、福島県相馬市ほか	阪神・淡路大震災での被災経験を持つ太鼓奏者の上田秀一郎氏が、南三陸町や相馬市など被災地での激励演奏を企画。陸前高田で毎年おこなわれる「全国太鼓フェスティバル」参加者とも連携し、被災地の状況を調査しつつ、太鼓で被災者を激励していく。

<p>公益社団法人企業メセナ協議会 第1回 GBFund(芸術・文化による復興支援ファンド)選考会概要</p> <p>開催日程:2011年4月18日(月)</p> <p>選考委員:片山正夫理事(セゾン文化財団常務理事)、加藤種男理事(アサヒビジュアル芸術文化財団事務局長)、吉本光宏理事(ニッセイ基礎研究所芸術文化プロジェクト室室長)</p> <p>採択件数:11件、助成総額:245万円</p>
--

以上

【東日本大震災に対する、AAFの取り組み】

「アートによって結ばれた仲間たちを応援するために」

東日本大震災により被害を受けられた方々に心よりお見舞いを申し上げます。

アサヒ・アート・フェスティバル(AAF)は、今こそ心を支えあう活動を継続するとともに、広くみなさまにも、この活動へのご協力を心からお願い申し上げます。

アサヒ・アート・フェスティバル(AAF)は、市民がアートの力で地域の未来を切り拓こうとするプロジェクトのネットワークです。

そのAAFに参加されてきた仲間も、青森、八戸、南三陸、東鳴子、仙台、仙南、南相馬、小名浜、いわき、などなど、大変な困難に直面しています。

それぞれに自分たちの地域の未来を信じ、アートにより力強く、生き続けるための活動を続けてきた仲間です。

アートの力により、きずなを深めてきた仲間です。

だからこそ、私たちはみんなで力を合わせ、知恵を結集して、社会全般の課題解決の支援にアートができることを実行していきます。

今、アートができることは心を支えること。

一人でも多くの方々の心を支えることが、この局面を乗り越えていく大きな力になると信じています。

AAFはアートの力を信じ、アートを中心に据えて、地域社会の課題解決に取り組む行動をしていきます。

アサヒ・アート・フェスティバル実行委員会 2011年3月18日

1. 「AAFネットワーク活動支援募金の開設 | 2011年4月26日現在 募金合計額1,231,647円

【第1回活動支援金支払い実績 | 6件 計1,200,000円】

酔っぱらいに愛を実行委員会 200,000円

事由:震災後の青森県八戸中心街八つの横丁の活性化のためのプロジェクトに対して

<http://www.asahi-artfes.net/program/2011/2011-8.html>

ENVISI 400,000円

事由:宮城県南三陸町における今後のアートプロジェクト全般に対して

<http://www.asahi-artfes.net/program/2011/2011-6.html>

アート屋台プロジェクト実行委員会 200,000円

事由:宮城県大河原町および宮城県沿岸部でのアート屋台プロジェクトに対して

<http://www.asahi-artfes.net/program/2009/6.html>

NPO法人東鳴子ゆめ会議 200,000円

事由:被災者を受け入れた宮城県大崎市東鳴子温泉におけるプロジェクトに対して

<http://www.asahi-artfes.net/program/2010/4.html>

Art! Port! Onahama 実行委員会 200,000円

事由:当該実行委員会とこれに連携する団体による福島県いわき市でのプロジェクトに対して

<http://www.asahi-artfes.net/2008/program08/005>

2. 「きりこ」ワークショップ の開催 <http://bit.ly/hFvtA5>

とりわけ甚大な被害を被ったきりこの町・南三陸町再生支援を目的に、「きりこ」ワークショップをおこない、被災した町としてだけでなく、南三陸町の文化・営みを知っていただいたうえで、寄付およびワークショップ参加費を活動支援金としてあてる。

【現在のワークショップ開催地候補】

- ・すみだ川アートプロジェクト（東京）
- ・アサヒビール 大山崎山荘美術館（京都）
- ・滋賀県近江八幡市・沖島
- ・長野県内中学校 など

3. 心のケアにつながるアートコンテンツづくり

4. Webを活用した情報支援

5. 寄付つき防災グッズの活用・開発

6. 中長期的な体制づくり

→ 青森アート NPOセンター、八戸はっち、仙台メディアテーク、いわきアリオスなど

7. 交流支援プログラムの活用

→ 東北のAAFネットワーク団体と重点的に交流するような企画を応援したい